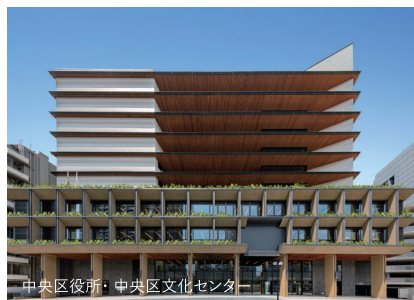


「あたりまえの日常」を届ける

公共建築物、上下水道、クリーンセンター、交通、港湾施設等、市民生活に欠かせない施設の整備に携わることで、神戸に“あたりまえの日常”を届ける。

建築設備

庁舎、学校、博物館、体育館等の公共施設(魅力あるまちづくり)



プラント設備

上下水道、クリーンセンター等(くらしの安全安心を守る)



運輸インフラ設備

地下鉄、バス、道路、空港、港湾施設等(快適な社会を創る)



「まちづくり」という大きなプロジェクトへの参画

都心・三宮再整備に代表される大規模なプロジェクトに、総合設備職員も携わっています。



脱炭素社会への貢献

太陽光発電、消化ガス発電、ごみ発電、小水力発電、水素事業、雨水利用及びコージェネ設備などの導入により、自然エネルギー活用や省エネルギー化に取り組んでいます。

主な配属先

- ・建築住宅局
- ・建設局
- ・水道局
- ・環境局
- ・交通局
- ・港湾局 など

データで見る総合設備職員

(2024年4月時点)

総合設備全体

438名

うち、役職者人数

166名(係長級以上)

年代別人数

20～30代: 186名 40代以上: 252名

民間経験者の職員も活躍中！

Q どの業界からの転職が多いの？

A メーカー、インフラ関係など

Q 総合設備職員全体の中で経験者採用の人ってどれぐらいいるの？

A 約22%

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

神戸市職員採用ホームページ

神戸市 職員採用 検索



TEL 0570-083-330

または 078-333-3330

神戸市お問い合わせセンター(年中無休 8時～21時)



メールでの
問い合わせはこちら

2025年2月発行

神戸市職員

職務ガイド [総合設備(電気・機械)]



神戸の街に、“あたりまえの日常”を安全・安心に届けます。



総合設備職員とは？

公共施設の建築設備、上下水道・クリーンセンターなどのプラント設備、交通施設・港湾施設などの運輸インフラ設備における、さまざまな電気・機械設備の計画・設計・工事監理及び保全が主な業務です。電気職員は主に受変電・発電機・照明・防災・通信・中央監視などを、機械職員は各種プラントをはじめ、空調・給排水・防災・自動制御などを担当し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。



「電気」について
詳しくはこちら



「機械」について
詳しくはこちら



「電気・機械」の
紹介動画はこちら

よりよいまちづくりのために
スキルアップを積み重ねる



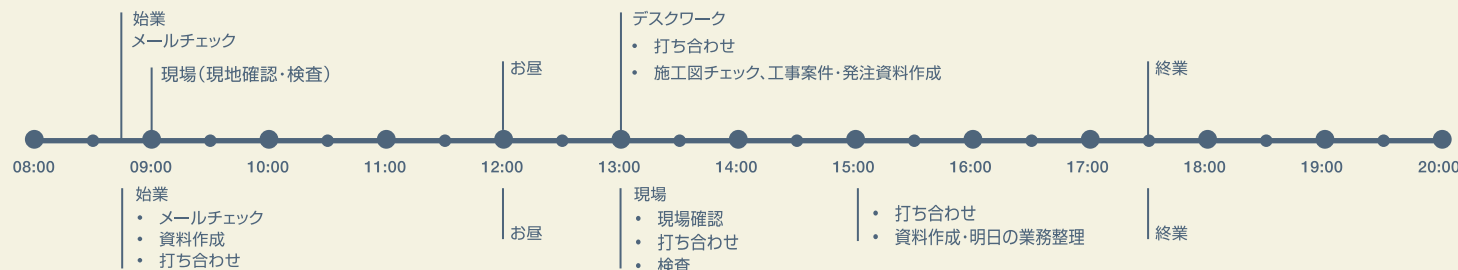
ながはる まさあき
永春 成章

建築住宅局 設備課
2014年入庁

電気

設備課に異動してすぐに、大規模小学校の校舎増築工事という大きな事業を担当しました。最初はわからないことばかりで不安な日々でしたが、工事業者との打ち合わせでわからないことは丁寧に確認し、部署内でも相談を重ねながら完成まで進めました。やり切ったという達成感に加え、スキルアップも実感でき、自信にも繋がっています。

普段は、学校や区役所などの公共施設の電気設備工事の設計・工事監理業務を行っています。日々、仕事に向き合っていると今まで知らなかった新しい知識や発見に出会います。本質的な仕組みを理解し、自分の頭で考えることを積み重ねる。自身の知識と技術力でこれからの神戸のまちづくりに貢献していきたいです。



神戸の未来を担う
子どもたちのために



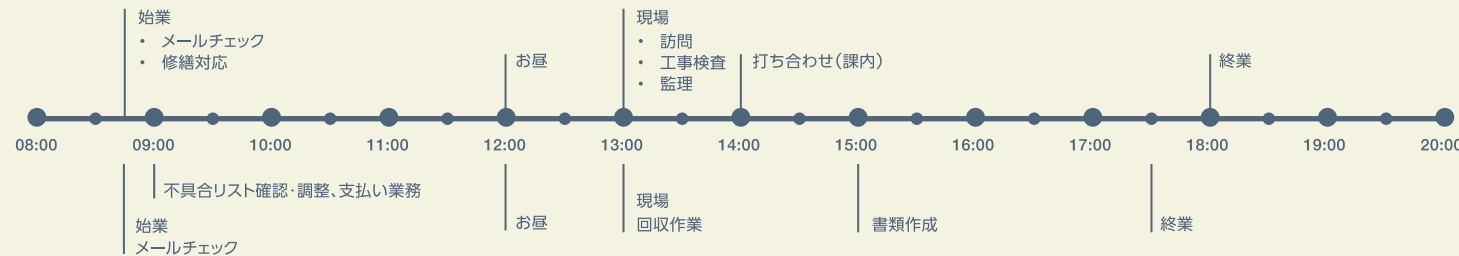
おおたに みずき
大谷 瑞季

教育委員会事務局 学校支援部学校環境整備課
2016年入庁【民間企業勤務経験あり】

機械

民間の設計事務所に勤務したのち転職を決意したのは、生まれ育った神戸の建物設計に携わり、神戸の発展に貢献したいという想いから。主に、神戸市の小中学校、高校、支援学校等の既設設備の修繕・計画的更新、新設方法の検討と方針決定を行っています。施設一つ一つの安全・安心はもちろん、利用しやすさにも考慮しており、見栄えの良さだけではなく、空調や給排水などの目に届きにくい機械設備も重要視しています。

学校設備の不具合が起こった際は、学校運営に大きな影響が出ないように直接現場へ訪問し修繕作業を行うこともあります。子どもたちから直接「空調を直してくれてありがとう」などの感謝の言葉をかけてもらった時は、今後の未来を担う子どもたちのためにもっと自分も頑張ろうと思うことができます。



ワークライフバランスの
充実も魅力



やまもと たかし
山本 卓志

環境局 施設課 係長
2013年入庁【民間企業勤務経験あり】

電気

主に、クリーンセンターの電気工事・設計発注、ごみ発電による電力事業の管理を行っています。部署内では係長として自らの意見が意思決定になることもあるため、どのような時も真摯な態度でその時のベストな対応を心がけています。また、ワークライフバランスの取りやすさはこの先も長く楽しく働く上で魅力的な部分だと感じていて、休日は趣味のサッカーやキャンプ、大好きな家族との時間を大切に、プライベートも充実しています。

私たちの仕事は、社会貢献に繋がる仕事であるため大きく捉えられがちですが、実際には小さなことの積み重ねが市民のみなさんの生活を豊かにしていると実感します。それらをコツコツと積み上げながら、神戸の自然環境に資する電力事業などの取り組みについて考えていくことは私たちの使命であると思います。



市民生活を支える
仕事に誇りを持って



かとう ぎんじ
加藤 銀二

交通局 高速鉄道部 地下鉄車両課
2024年入庁

機械

私の部署は、車両の検査計画立案、基地内設備の維持管理、日々の車両不具合対応・整備など、地下鉄の車両に関することを担当しているため、市民生活に直接関われていると実感できる場面が多くあります。その分、日々安全かつ正確に運行しなければならないという責任感が自然に芽生え、1年目からしっかりと責任をもち、業務と向き合えました。また、毎年交通局が主催となって行われるイベント「交通フェスティバル」では、1年目で準備から運営に携わり、鉄道ファンを中心に市民のみなさんと直接交流ができる場として私自身も楽しみながら多くの学びを得ることができました。

どこか安全・安心に使えることが当たり前に思われがちな公共インフラサービスも、守るひとがいるからこそ、市民生活を支える自分たちの仕事に誇りを持ち続けていきたいです。

